

# Yuri's Night Japan '06 報告書

1、Yuri's Night Japan 活動報告

2、「Yuri's Night Party '06」各会場詳細

2.1、秋田会場

2.2、東京会場

2.3、大阪会場

3、添付資料

東海大学工学部航空宇宙学科 3 年  
宇宙企画運営会 Yuri's Night Japan  
松村敬太

# 1、Yuri's Night Japan 活動報告

## 1.1、活動概要

今年は4月8日から12日まで、日本全国5ヶ所の会場でYuri's Nightが開催されました。宇宙企画運営会 Yuri's Night Japan 運営部（以下「運営部」）では、会場間の情報交換のために以下の活動を行いました。

### (1)メーリングリストの管理

各会場代表者をはじめ総勢31名が会員登録されているメーリングリストで、昨年度から継続して使用しています。これからもYuri's Night Japan全体への連絡・報告に使用していきます。

### (2)Yuri's Night Japan 公式ホームページ（以下「ホームページ」）の作成・管理

新たに運営部のホームページを作成し、2005年度版以降のホームページを「過去のイベント」としてまとめました。これにより、今までの活動報告などを閲覧するのが容易になりました。

## 1.2、運営者側から

4月8日から12日にかけて、日本全国5ヶ所の会場で「Yuri's Night Japan」が開催されました。桜咲く、入学式の時期が近いともあって、神奈川会場の東海大学では新入生や留学生の参加者も多く見られました。このイベントは2001年に始まり、今年で5周年を迎えました。会場は、今年新たに愛知と神奈川を加え、参加者数も年々増加しています。

さて、海外に目を向けますと、今年の参加国は33カ国、南極も含めた91会場でYuri's Nightが開催されました。アメリカではダンスパーティー、パリではロシア人パフォーマーによる、ロシア風のパーティーが開かれたようです。「4月12日に宇宙好きが集まればYuri's Night」というように、形式・内容は非常に多彩です。

日本でも、大阪では宇宙授業、秋田では天文系の趣向を凝らすなどの様々な企画がなされていますが、これからは会場の枠にとらわれないクリエイティブな企画ができないかと考えています。具体的には、以前から話のあった「会場間のコラボ企画」、「スペース・アートを取り入れた企画」などです。会場を非日常のアーティスティックな空間にし、回線などで繋いだ他の会場の人たちとも乾杯や企画を共有できれば、もっと感覚的なレベルでも宇宙を楽しんでもらえると思います。

Yuri's Night '06は終了しましたが、これからも宇宙の様々なアピール活動を行っていきたいと思います。このような活動を、これまでのように一度きりで終わらせるのではなく、

社会から見て一つの流れとして捉えてもらえれば、一般の人が宇宙に触れて頂ける機会も増えると思います。そのためにも、宇宙企画運営会のスタッフ一同、より良い企画で宇宙をアピールしていけるように努力して参りますので、今後ともご協力・ご支援のほどよろしくお願い致します。

東海大学工学部航空宇宙学科 3年

松村敬太

## 2、「Yuri's Night Party '06」各会場詳細

### 2.1、秋田会場

#### 名称

Yuri's Night2006 秋田

#### 開催時期

4月12日（水）

#### 開催場所

秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階カレッジプラザ

#### 主催機関などの名称

秋田大学学生宇宙プロジェクト

#### 開催目的

当団体が主催するイベントを通し、県民に対する宇宙への関心や理解を深めてもらうため

#### 当日スケジュール

16:30～ 受付

17:00～18:00 講演

講演題目 「小惑星探査機はやぶさの活躍」

講演者 秋田大学工学資源学部附属ものづくり創造工学センター専任助手 秋山  
演亮

18:00～18:30 講演

講演題目 「秋田大学学生宇宙プロジェクト活動紹介」

講演者 秋田大学学生宇宙プロジェクト

18:30～18:45 宇宙クイズ

18:50 終了

#### 主催者側から

今回のユーリズナイト秋田はイベントを通していろいろなことに挑戦しました。まずは、主催団体を学生宇宙プロジェクトに変更し、対象を絞った上での会場選定など様々な事に

挑戦しました。秋田大学学生宇宙プロジェクトは「より宇宙を身近に」を合言葉に活動を本格化し、今回のユーリズナイト秋田もその合言葉と共に参加費を無料にしたり、会場も交通の便が良い場所ををえんだりと様々な事に挑戦しました。もちろん、今回案が練り切れず明らかに失敗と言える部分もありますが、今回のユーリズナイトが来年のユーリズナイトはもちろんの事、これから秋田大学学生宇宙プロジェクトが行っていくであろうイベント運営を行っていく上で意味のあるイベントいえると思います。

当日の様子に関してですが事前のPR不足がたたり来場者数は極めて少なかったです。しかし、来場者のほとんどの方が「講演内容が面白かった」や「学生宇宙プロジェクトの活動に興味を持った」等講演の評判方は上々でした。

秋田会場代表  
中井大助

## 2.2、東京会場

### 名称

Yuri's Night in Tokyo

### 開催時期

4月9日（日）

### 開催場所

東京都文京区春日 1-16-21

文京シビックセンター26階 スカイホール

### 主催機関などの名称

Pull きぼう宇宙討論会

### 開催目的

全世界で初めて人間が宇宙に進出した日、「Yuri's Night」。この日、日ごろ宇宙に興味がある人も今まで宇宙に興味がなかった人も共に楽しめるパーティを開き、親睦を深めてみんなで「宇宙」の持つすばらしさを共有し、感じることもできる場を提供する。

### 当日スケジュール

開会式

これまでの宇宙開発（スライド）

フリータイム1

宇宙に関するクイズ

フリータイム2

閉会式

### 主催者側から

4月9日に文京シビックセンター、スカイホールで Yuri's Night を開催しました。当日はとてもいい天気で、26階の窓から見える東京の夜景はすばらしいものでした。そのおかげか、当日は学生、社会人をあわせて60名弱の方々に足を運んでいただくことが出来ました。最初のプログラムであるスライドは、サンライズに許可を取り、NHKでやっていた「プラネテス」のOPムービーを使ってこれまでの宇宙開発をわかりやすく説明しました。これには沢山の驚きの声をいただきました。次の企画であるクイズは、会場をすべて利用し

て、正解者が進んでいくという形式で行いました。みなさんととても近い距離で行えたので、みなさんの生の反応が見られて、スタッフとしましてもとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。しかし途中でパソコンが止まってしまうというアクシデントもありましたが、大きな混乱にならず進められたのは会場のみなさんのおかげでした。

企画の段階で、本当に多くの方々にお手伝い、アドバイスをいただきありがとうございました。この場をお借りして、心から感謝いたします。このイベントで多くの方に宇宙に対するきっかけを作れたと思います。今後はもっと沢山の人が楽しく、わかりやすく参加できるようなイベントをスタッフ一同作っていきたいと思います。これからもみなさんと宇宙のすばらしさを共有できるよう、スタッフ一同努力していこうと思います。

東京会場代表

湯通堂大貴

## 2.3、大阪会場

### 名称

Yuri' s Night 2006 in Osaka～宇宙講座「水ロケットを作って飛ばそう」～

### 開催時期

4月8日（土）

### 開催場所

東大阪市 クリエイションコア東大阪

### 主催機関などの名称

主催：Kansai Space Explorers

### 開催目的

ユーリガガーリンが人類で初めて宇宙飛行した日をみんなで祝うと共に、一般の人に宇宙を身近に感じてもらうイベントとする。

### プログラム

#### 【本会場】

- 10：30           はじめに
- 10：35～10：50 Yuri' s Night の紹介
- 11：00～11：30 [宇宙講座①] 星座について
- 11：40～12：10 [宇宙講座②] ロケットについて
- 13：00～14：00 [水ロケット教室①] 水ロケット製作
- 14：30～16：30 [水ロケット教室②] 水ロケット打ち上げ大会

#### 【展示】

- ・ H-2A ロケット模型
- ・ 月の器

### 主催者から

大阪での Yuri' s Night の開催は昨年に引き続き2度目となりました。開催日は通常12日のところ、なるべく多くの人に宇宙を楽しんでもらいたいという思いのもと、4日早めて8日（土曜日）に開催しました。内容は、今回も昨年同様宇宙を身近に感じてもらうことを目標に、水ロケット教室、及び宇宙講座を行いました。



宇宙講座では、子供向けに星座・ロケットの紹介を行いました。星座の講義では、開催したのが東大阪市ということで、普段星座を見る機会のない子供が多く、真剣な眼差しで講義を聴いていたのが印象的でした。ロケット講義は、JAXAによって打ち上げられたM-Vロケット、及びH-2Aロケットの映像を交え行いました。ロケット打ち上げ映像は普段見る機会がないため、興味津々に見ている子供が多く見受けられました。

水ロケット教室は参加者が少なかったため、参加者の自主性を重んじる内容で行いました。フィン形の形を予め与えずに、参加者の好きな様に製作してもらったところ、ユニークな形のロケットを作っていた子供達もいました。そのため、製作したロケットを打ち上げた際は、予期せぬ挙動で飛ぶロケットも見受けられましたが、ロケットが打ち上げられる度に歓声上がり、自分の作ったロケットが打ち上がることに喜びを感じているようでした。さらに、地元東大阪の企業が製作した水ロケットのデモも同時に行いましたが、電動のランチャーから勢いよく発射されるロケットを見て、驚いている様子でした。

また、展示されていた月の砂『レゴリス』と同一成分にて作られていた器も、じっと眺めている人が多く、宇宙と芸術という異色のコラボレーションを味わっている様子でした。

今回のイベントは、初のKSE単独開催のイベントということで、広報が余り上手くいかず参加者が伸び悩みました。そのため、本来の目的であるように多くの参加者を集めて行うことは出来ませんでした。少ない参加者の方には楽しんでいただけたイベントだったのではないかと思います。

今回の大阪での開催にあたり開催場所のクリエイションコア東大阪の皆さん、及び大阪府中小企業機構の方に多大な協力をいただきました。このようなたくさんの皆さんのご協力に対して心からお礼を述べさせていただきたいと思います。また、Yuri's night! をこれからも大阪にて引き続き開催していきたいと思っておりますので、これからもご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

Yuri's Night in Osaka 実行委員長  
峰松 拓毅

### 3、添付資料

今回ご支援を頂いた企業・団体をご紹介します。

企業・団体名	口数
宇宙システム開発株式会社	5
宇宙観光企画	10
有限会社銀河ヒッチハイカーズ	10
私立二葉幼稚園	10
Space Carrozzeria MUNPA	1

※ 敬称略、順不同

※ 1口 1000 円のご支援を頂きました。

これらの支援金は、Yuri's Night 愛知にて使わせて頂きました。

また JAXA 様からは「宇宙開発を振り返るビデオ」を貸与して頂き、Yuri's Night 東京で使わせて頂きました。